

広報こすど

発行所 小須戸町公民館
発行人 小宮純一
発行部 毎月5部

毎週第三日曜日は 家庭の日

です
一日を家族全員で
すごしましょう。

昭和四十一年の

事業構想

——今年の町政——

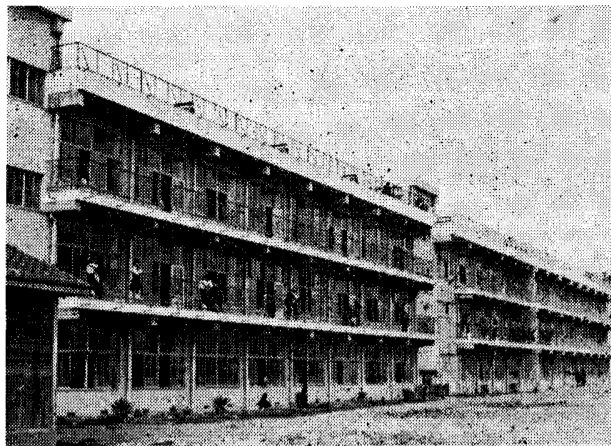


町長 村山吉五郎

昭和四十一年度をむかえ、今年には最良の年であり、小須戸町が益々発展して行く年であり、ますますの発展を期すに、今年こそは、私共全吏員一同感謝をもって、姿勢を正し、張切つて町民の皆様に奉仕するの覚悟を新たに致しております。何卒倍旧のご鞭撻と御協力をお願い申し上げます。

又、中学校の新体育館の建設を計画致して居ります。この規模は町民の体育向上の爲めのもので、大なるものがあり、信じて居ります。これが建設に於いては、折角近隣の進捗に努力致さねばならぬと存じます。尚、白根市、小須戸町、矢代田から五泉市へ通ずる巻一五泉線の県道は、山の手の道路が旧来の儘であるため、大改良工事を当局へお願いして、大道路にして会津一平線に通ずる大動脈と致さなければならぬと存じます。私は小須戸町は、これに併せて、御協力を得て高級住宅地及び工場敷地の造成を致したいと存じます。又、山

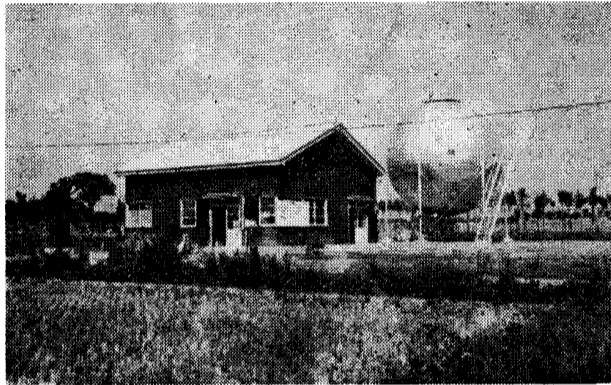
ふさわしい施策と努力を以つてすれば解決のつく事であり、また大発展も夢ではないと存じます。次に旧役場の建物の利用については、種々研究の決果を、公民館の建物と併合して改造の上町の産業経済会館的のものとして公民館、商工会、青年団、婦人会、老人会、其他の活用を便ならしむると共に、町の民衆の憩いの場として各種の集會、催場として利用致す事に準備を進めて居ります。尚、新役場庁舎移転に依り新しく警察庁舎の建設が必要となりますので、当局に要請しておりますが、その実現が可能となり、かつ旧庁舎を町へ下り下げを願つて移設して町の機関に利用致したいと要望を致して居ります。町民の皆様におかれては、折角近隣の進捗に努力致さねばならぬと存じます。尚、白根市、小須戸町、矢代田から五泉市へ通ずる巻一五泉線の県道は、山の手の道路が旧来の儘であるため、大改良工事を当局へお願いして、大道路にして会津一平線に通ずる大動脈と致さなければならぬと存じます。私は小須戸町は、これに併せて、御協力を得て高級住宅地及び工場敷地の造成を致したいと存じます。又、山



中学校校舎



町営住宅



ガスホルダー



給食センター

後進性をとり 新しい町に 四十一年度予算町会

昭和四十一年度予算を決定する三月定例議会は、十七日から二十三日にかけて開かれ、一般会計予算案など二十九件をいづれも原案通り可決いたしました。

(以下別紙の通り)

定例会の開催にあたり、町長は、就任以来他町村より早く取り戻したいという信念で、簡易水道の新設、上水道の改良、組合立し尿処理施設の建設、ガス、町営住宅の建設、中学校の改築と給食センターの建設、林道の開発、地震災害の復旧、役場庁舎の建設など、約三億六千万円の投資的事業を行なってきたが、毎年行なわれる地方税の減税や、職員給与の改定などのため四十年度才入欠の見込額は二千九百万円前後になる公算が強い。

明確な判断と監視力をもち、実行の具体策に裏づけられた公約をたし、任に立つては、政治の責は不当な報酬を贈つたり受け取ったりしないもの常々心に懸念すべき事ではないでしょうか。私はあくまでも民意を其の心として町民のための町政を貫く覚悟を年度の初めに、町民の目に町政の進捗の進捗を御覧いただき、御褒めいただき、御慰めいただき、御励ましを賜います。

力をお願い申し上げます。

一三〇万円(〇.七%)一名とした。

5. 給料の調整額に関する条例の一部改正

6. 町村人事事務組合の設立と公平委員会条例の廃止

7. 町村に設けられている公平委員会の事務を県下に処理しようとするもの、この組合が発足する日を廃止しようとするものがある。

8. 督促手数料及び延滞金徴収条例の制定。

9. 手数料及過料を納付しなかつたものに対し、督促状を差出した場合は、一週に付二十円の督促手数料を徴収する。また督促の納入期限を、日歩四銭の延滞金を加算され、その期日までに納入するよう期日付を定めよう。

10. 学校給食費徴収条例の制定。

11. 町道路上に露店を張る場合は一平方米当り一ヶ月四十円を納めていたとき、

12. 建設機械貸与条例の制定。

左記の使用料を徴収して貸出しを行うもの

税だより

昭和四十一年度固定資産税の免税点が土地にあっては、三万四千円が八万五千円に、家屋は三万四千円が五万五千円に、償却資産は十のひき上げられ、小須戸町役場税務課には、理はうまいし、解はうまいし、べたり、化力は旺盛で、も皆払う、お勘定は、公給領、新津財務事務所

別表	
●一般会計「単位千円」	歳入 一六八、四八〇
歳入	一六八、四八〇
歳出	一七〇、一七二
議会議費	四六、一七二
総務費	一、四三九
民生費	一、二七五
衛生費	一、九〇二
農林水産費	三、三〇二
土木費	八、九八二
商工費	九、八五八
消防費	六、九三九
教育費	三、二六九
公債費	一、〇八一
予備費	五、〇〇〇
国民健康保険会計	四〇、七八六
歳入	四〇、七八六
歳出	三、七一四
総務費	三、七一四
保険給付費	三、七一四
歳入	三、七一四
歳出	三、七一四
ガスマシナ会計	一、〇〇〇
予備費	一、〇〇〇
歳入	一、〇〇〇
歳出	一、〇〇〇
ガスマシナ会計	一、〇〇〇
予備費	一、〇〇〇
歳入	一、〇〇〇
歳出	一、〇〇〇

13. 昭和四十一年度一般会計、特別会計の補正最終的な補正を行いました。結果、一般会計の場合は、二億八千四百二十二万一千円、国民健康保険会計は、三億八千八百六十九万九千九百三十三円となりました。

14. その他、町内調査特別委員会は今後調査研究を続けることとし、有線放送の市内電話を結ぶ請願その他陳情請願三件は、いずれも採択されませんでした。

機名	貸付対象	使用料	摘要
小松ブルドーザー	公共団体	手付、1 運燃料時間 3,000円	共用に 公限
	建設業者 その他	全 4,000円	

買いますよう
タバコは
町から

集会施設に 改修なる

社会教育活動のために

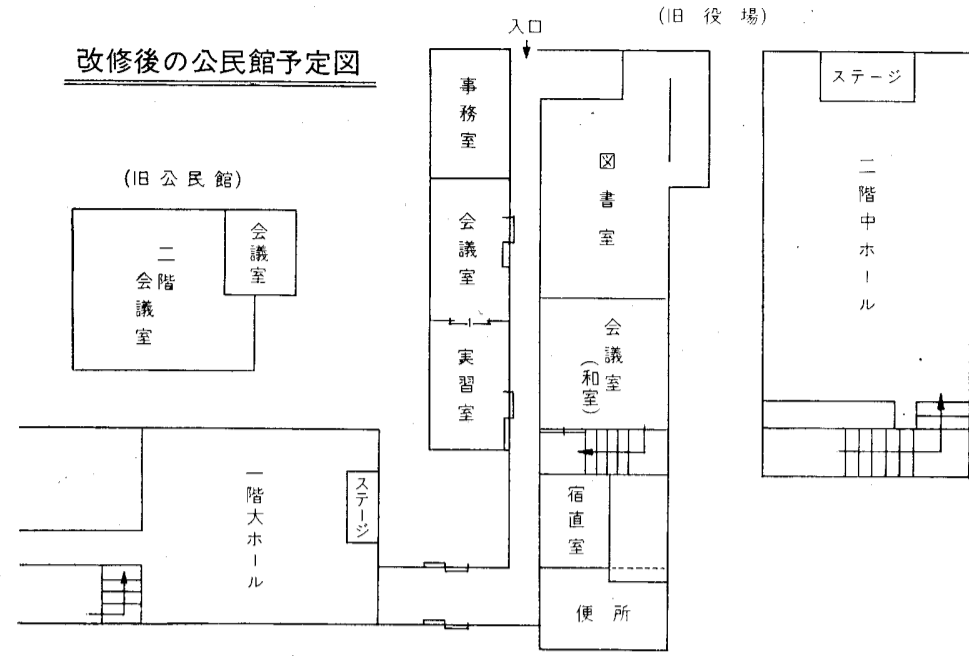
新役場庁舎の完成により、旧役場庁舎の改修利用が、二階については以前より検討されてきたが、要前との併用で利用されたいと望まれてきた。旧役場庁舎及び現在の公民館は、廊下一本でつながり、二階については以前より検討されてきたが、要前との併用で利用されたいと望まれてきた。旧役場庁舎及び現在の公民館は、廊下一本でつながり、二階については以前より検討されてきたが、要前との併用で利用されたいと望まれてきた。

台所の片スミで

生活の知恵

私たちの生活の中では、強くなかなかぬげません。こんな時、台所の片スミで、便利なアイテムをご紹介します。アイロンの汚れには、お酢を吹きかけ、乾かすと、汚れが落ちていきます。また、お酢は、掃除にも使えます。

改修後の公民館予定図



入賞おめでとうござい。衛生知識育見知識の向上をはかり、明るい新島県を築くため三才児及び赤ちゃんとの一斉検診



育見知識

赤ちゃんコンテスト

が行われ、小須戸町代表として参加しました吉田信広やんは二次検査で一位に入賞。さる十八日の県大会に三市中浦の代表として参加しました。

吉田信広 矢野 泰雄二男
新島 哲 小須戸 幸雄長男
早川善郎 小須戸 昭志長男

村山美樹 矢野 祐二男
吉井政春 新保 清作二男
真柄道明 天 昌司長男
本多正巳 矢野 和雄長男
須藤勝彦 矢野 寅夫長男
丸山浩規 新保 征二長男
古城泰彦 新保 恒夫長男
古丸和嘉 天 政二長男
東条政実 小須戸 孝昭長男
藤田啓典 小須戸 仙典長男
女児
村山優子 矢野 孝司長女
川崎清美 横川 清 長女
和泉美穂 小須戸 修治二女
大貫千恵子 小須戸 勝利長女
真保千恵子 小須戸 安良長女
渡辺淳子 小須戸 輝穂長女

二階中ホール
図書室
会議室(和室)
宿直室
便所
事務室
会議室
実習室
一階大ホール
入口(旧役場)

村山美樹 矢野 祐二男
吉井政春 新保 清作二男
真柄道明 天 昌司長男
本多正巳 矢野 和雄長男
須藤勝彦 矢野 寅夫長男
丸山浩規 新保 征二長男
古城泰彦 新保 恒夫長男
古丸和嘉 天 政二長男
東条政実 小須戸 孝昭長男
藤田啓典 小須戸 仙典長男

村山美樹 矢野 祐二男
吉井政春 新保 清作二男
真柄道明 天 昌司長男
本多正巳 矢野 和雄長男
須藤勝彦 矢野 寅夫長男
丸山浩規 新保 征二長男
古城泰彦 新保 恒夫長男
古丸和嘉 天 政二長男
東条政実 小須戸 孝昭長男
藤田啓典 小須戸 仙典長男

安全運転読本
正しい交通

安全運転読本
正しい交通

安全運転読本
正しい交通

お役にたててください

お役にたててください

お役にたててください

新刊購入図書

新刊購入図書

新刊購入図書

愛犬家は注意を

愛犬家は注意を

愛犬家は注意を

柔剣道の練習日のお知らせ

柔剣道の練習日のお知らせ

柔剣道の練習日のお知らせ

葉桜句集

葉桜句集

葉桜句集